



NPO 法人 響き合いネットワーク東京 SP の会

NPO Resonate Network Tokyo

社会医療法人社団友の会第 146 号を読んで東京民医連が PFAS の分析器購入の記事を見ました。皆さんに諮ってこの団体に 100 万円寄付することになり、7 月 3 日に振込手数料 770 円で込みましたことを報告します。

○7 月 4 日女子医大の医療面接模擬患者講習会がありました。28 名の参加でした。医師による症例の説明があり今回の説明はきめ細かさを感じました。今回はシナリオをみてよいが次回は見ないでやってくださいねと念を押されました。身体診察も今までとは違って、身体診察の方法を教えてくださいました。

○いかに神永貞信さんの感想を掲載します。

参加した感想

神永貞信

手と手を握りしめながら、上ずったような声で話しかけてくる学生が多く見受けられました。でも学生は医療面接の意味を知っていると見えて、ほとんどの学生が同じような「問診」してきました。自分たちが知りたてことを聞くという、いわゆる「問診」でした。患者として、気になっていることを聞くといった問いがなかったのです。

やはり患者に話させるといった雰囲気があればスムーズに会話が出来たと思いました。

○7 月 6 日と 13 日昭和大学で男性 3 名(石井・棚橋・中川)が参加しました。参加した棚橋浩治さんの感想文を掲載します。

2024 年 7 月 15 日

2024年度 昭和大学医学生臨床実習後 OSCE  
に模擬患者として参加して

棚橋 浩治

7月13日(土)昭和大学の医学生臨床実習後(Post-CC)OSCEに模擬患者役(SP)として参加したので、感想を書きます。

当日は朝8時集合でした。全国の医学系大学から関係者が大勢集まって、集合会場に一堂に会し責任者から挨拶、関係者の紹介等があり、これから2024年度Post-CC OSCEの真剣な試験を開始する、いう緊張感を肌で感じ取れました。

今回のOSCEに参加して感じたことは、どの学生も身だしなみは、髪も綺麗に整えられ、服装も綺麗で清潔感があり、患者への配慮など一生懸命勉強して頑張っているということです。その学生に対応するので、彼らをもっと成長できるようにSPも負けないよう勉強し頑張らねばということでした。

○8月24日に参加した近藤さんの感想文です。

昭和大学医学部4年生臨床実習前 OSCE に参加して

近藤久恵

2024年8月24日（土）猛暑が続く朝早く田澤さん、浅岡さん大川さん、石井さん、三上さんの6人は旗の台キャンパスに向かいました。

模擬患者は東邦大学関係の人と合わせて18人

前週の8月17日（土）に本番前の全体説明と練習を行っていたが、当日はとても厳しい雰囲気  
で緊張した1日でした。

それも当然、私たちの出来が学生の一生にかかる試験と思うと、その大事さを心に秘めて全ての  
学生に標準模擬患者として公平に演じることに真剣でした。

全ての学生に対し無事終了することが出来一安心しました

OSCE では写真は撮らないとのことで写真なしの感想になりました。

皆さんに参加者の声は届きましたでしょうか。

9月は月例があります。ぜひ参加してください。

文責 神永教子